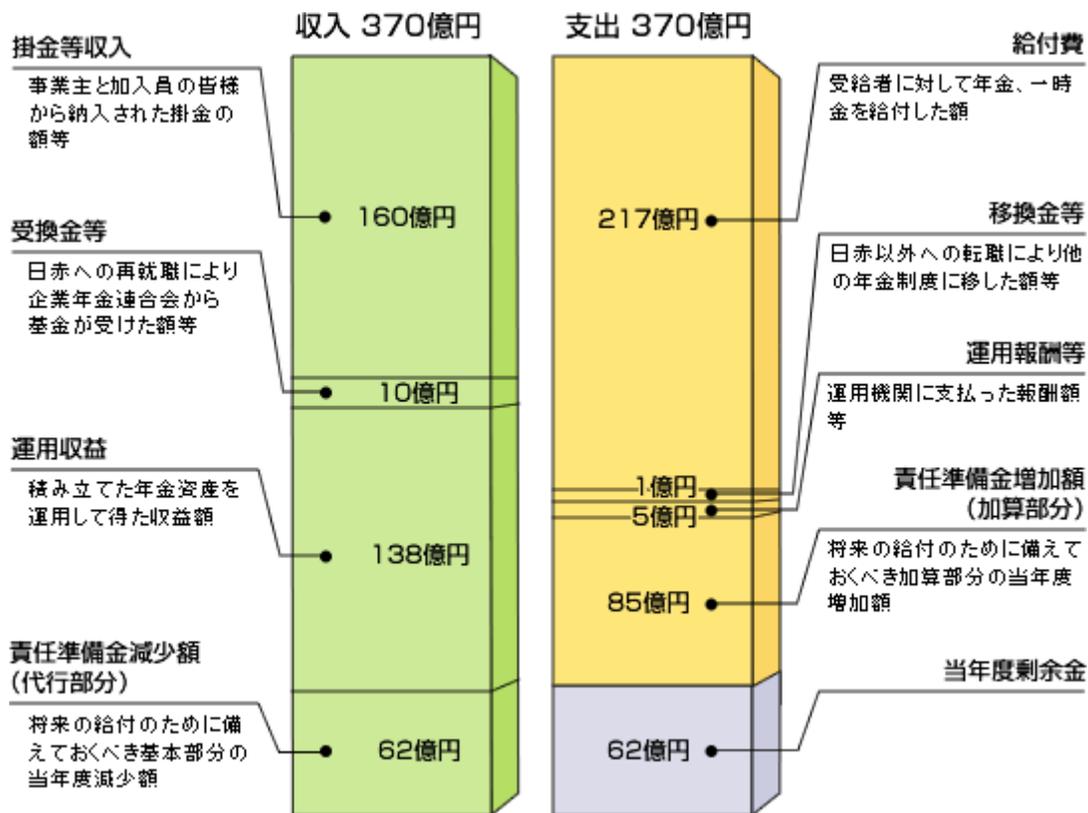


平成29年度 決算概況

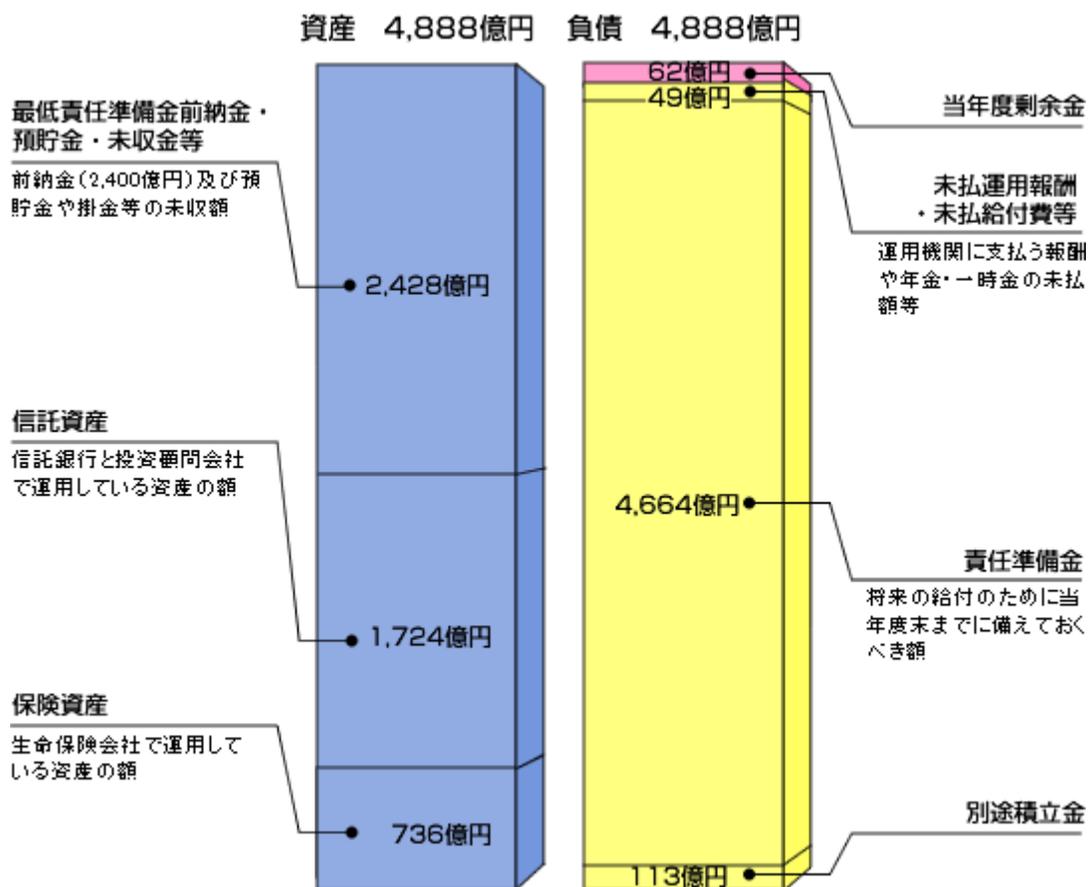
平成30年9月12日に開催された企業年金基金第2回代議員会において、厚生年金基金の平成29年度決算が承認されました。ここでは、この1年間にどのような収入があり、どのように支出されたのか、また、年度末の年金資産の積立状況についてご報告いたします。

平成29年度の収入と支出（「損益計算書」より）



(注) 端数処理の関係で、科目ごとの金額と合計額との間に一部誤差が生じています。

平成29年度末の年金資産の積立状況（「貸借対照表」より）



※純資産（4,839億円）＝年金資産（信託資産1,724億円＋保険資産736億円）＋預貯金・未収金等（2,428億円）－未払運用報酬・未払給付費等（49億円）

（注）端数処理の関係で、科目ごとの金額と合計額との間に一部誤差が生じています。

＋ 業務経理 基金運営に必要な費用に関する経理

業務経理は、基金の運営に要する事務的経費に関する経理で、運営に必要な費用は全額事業主負担の事務費掛金で賄われています。

収入は、事務費掛金による「掛金収入」、受取利息等の「雑収入」の合計3億1,648万円となりました。

一方、支出は、人件費、物件費等の「事務費」、代議員会開催にかかる「代議員会費」、運用機関の採用・評価にかかる「コンサルティング料」等の合計3億1,648万円です。

今後も引き続き適正な業務の執行に努め、業務の効率化を推進し、経費の削減を図ってまいります。

損益計算書（自：平成29年4月1日 至：平成30年3月31日）

（単位：万円）

支出		収入	
事務費	30,200	掛金収入	29,469
代議員会費	182	雑収入	38

業務委託費	0	当年度不足金	2,141
コンサルティング料	1,026		
繰入金	0		
雑支出	240		
計	31,648	計	31,648

貸借対照表（平成30年3月31日現在）

（単位：万円）

資産		負債	
流動資産	37,110	流動負債	4,829
（現金）	（3）	（預り金）	（182）
（預貯金）	（34,278）	（引当金）	（2,688）
（未収事務費掛金）	（2,800）	（未払金）	（1,959）
（立替金）	（28）		
固定資産	3,915	基本金	38,414
（器具及び備品）	（1,287）	（基本金）	（3,915）
（権利金敷金）	（2,628）	（繰越剰余金）	（34,499）
繰延勘定（前払金）	77		
当年度不足金	2,141		
計	43,243	計	43,243

（注） 端数処理の関係で、科目ごとの金額と合計額との間に一部誤差が生じています。

※平成24年度から福祉施設会計がなくなったため、ここでは基金運営に必要な費用の経理である業務会計について表示しています。それに伴い、従来「業務経理・業務会計」としていた表は「業務経理」に統一しています。